

事業所における自己評価結果

(児童発達支援)

公表：令和 6年 3月

事業所名：児童発達支援センター クローバー

項目		はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点など
環境・体制整備	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		利用児の年齢層、安全対策の観点からも適切と感じています。
	職員の配置数は適切であるか	○		規定では10名に対しスタッフ3名ですが、必要な療育の提供、安全への配慮等を考えると1.5人に対しスタッフ1人の配置をしています。
	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○		子どもたちの理解に関しては構造化、視覚支援の導入、転倒転落防止のためのマットやコーナーカバー、環境整備等工夫をしています。
	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		日々の清掃、消毒等丁寧に実施しています。
業務改善	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○		日々成長や課題を確認し、より良い支援方法を検討しています。
	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		毎年保護者の方にアンケートに協力していただいております。内容を参考にし次年度につなげていきます。
	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		社会福祉法人 城ヶ崎こいの里 ホームページにて公開しております。
	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○	外部評価は受けておりません。
	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		外部及び法人内研修へ参加して日々研鑽を積んでおります。
適切な支援の提供	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○		日々のコミュニケーションの中で成長した点や課題の共有に努めています。支援計画を立案しその内容も説明させていただいております。
	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		
	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○		
	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○		職員全体で支援計画の内容を共有し支援方法の改善や見直しも随時行っています。
	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		それぞれの療育目標に適しているか、より楽しめる内容かななどを検討し、活動内容を決定し実施しています。
	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		同じプログラムを行うときも前回の反省から一歩進んだ取り組みを心がけています。
	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○		集団活動の合間、集団活動中にそれぞれに必要な療育ポイントを取り入れながら行っています。

	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		1か月ごとに活動、担当決めを行い、掲示板を作成。全職員がその日の役割を把握出来るようにしています。
	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		療育終了後、活動及び個々の支援に対しミーティングを実施しています。月1回、個々に関するカンファレンスを行っています。
	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		連絡帳や個々の記録を作成し個別にファイルし保管しています。
	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○		基本的に、半年ごとに面談を実施させていただいております。
関係機関や保護者との連携	⑳ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		基本的には児童発達支援管理責任者が出席しています。
	㉑ 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○		市の子育て支援課や障害福祉課、他児童発達支援事業所、併用先の幼稚園保育園等と連携を図っています。
	㉒ (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	○		(現在対象児はいませんが、)保健師や利用児が通う医療機関、併用先幼稚園、保育園等と連携を図ります。
	㉓ (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	○		カンファレンスを行い情報交換をしています。適宜連携が図れるよう体制を整えています。
	㉔ 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		併用して利用しているお子さんの園、情報交換・相互の役割の確認を行っています。
	㉕ 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		入園、入学前に情報共有させていただいております。必要に応じ、保育所等訪問支援事業を利用してフォローアップも行っています。
	㉖ 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		
	㉗ 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○		立地上難しく、昨年度からの課題です。多くのお子さんは併用先にて多くの児童と交流の機会を持っています。
	㉘ (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等積極的に参加しているか	○		自立支援協議会(重心部会)にスタッフを派遣しています。また、児童部会には必要な情報を提供しています。、伊東市、東伊豆町の療育教室、特別支援学校等へ作業療法士の支援依頼をいただき参画しております。
	㉙ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		連絡帳を活用したり、日々の送り迎えの際にコミュニケーションを図り相互理解に努めています。
㉚ 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	○	○	家族支援プログラム実施はしておりません。個々に相談に応じております。	
㉛ 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		契約時に説明しております。	
㉜ 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○		保護者の方々の意向、お子さんの日々の様子から計画書を作成し具体的に説明させていただき同意を得ています。	

保護者への説明責任等	③4	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		連絡帳や送迎時のコミュニケーションの中で保護者の方々からの相談にタイムリーに対応できるようにしております。
	③5	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		今年度は年間を通しさまざまな感染症が蔓延しておりました。年度末に短い時間でしたが皆さんで集う時間が持てました。来年度に繋げていきたいと思っております。
	③6	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		速やかな対応を心がけております。出来る限り当日に対応しております。
	③7	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		「クローバー便り」を発行しています。
	③8	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○		守秘義務を徹底しています。
	③9	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		子どものコミュニケーションの力を育てるよう絵カードやサインなどのツールも使用。言葉につながるような支援も日々実施しています。保護者とは送迎の際にコミュニケーションを図っています。
	④0	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		近隣の子育て支援センターへのポスターや会報の配布などを行い啓蒙しております。また、見学も随時受け入れています。
非常時等の対応	④1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○		各種マニュアルは療育室内にファイリングし、いつでも閲覧可能にしております。また、季節により感染に関する対応策などお便りを活用しお知らせしています。
	④2	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		毎月1回実施しております。
	④3	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	○		契約時に確認しています。
	④4	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		契約時にアレルギーの有無を書面にて提出（年1回更新）いただき、栄養課、支援者にて周知し、療育活動に使う物品にも配慮しております。
	④5	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		事例が起こった際には、共有し対策防止策を検討しています。
	④6	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		法人内外の研修に参加し内容を共有しています。
	④7	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○		対象者がいる場合は同意をいただき記録を残しています。

この「事業所における自己評価結果」は、事業所全体で行った自己評価です。